

第1プロジェクト 概要

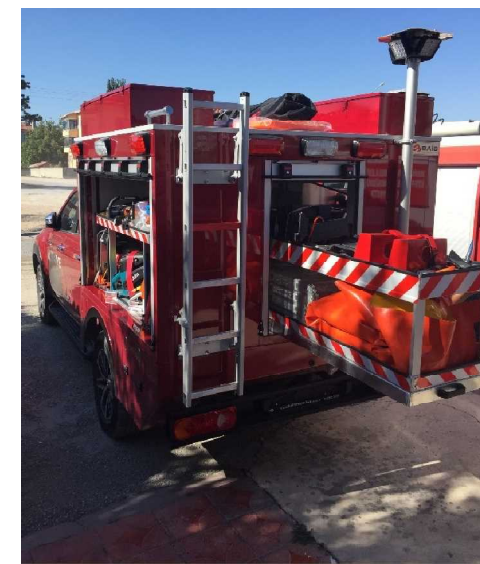
カライサル市捜索救助用車両整備計画

プロジェクト名	: カライサル市捜索救助用車両整備計画
被供与団体名	: カライサル市
対象地域	: アダナ県カライサル市
供与限度額	: 67,971 USD
年間裨益人数	: 22,000 人 (市人口)
計画の実施内容	: 頻発する災害・事故への迅速な対応を可能とするため、捜索救助用車両1台及び捜索救助用機材 (24品目) を整備するもの。

○ 整備予定車両 (イメージ)



○ 整備予定機材 (イメージ)



カライサル市長の感謝のメッセージ

在トルコ日本国大使館により実施されている「草の根無償資金協力」により、「カライサル市捜索救助用車両整備計画」が採択されたことを大変喜ばしく思います。この計画によって、カライサル市民だけでなく時としてトルコ全体のその他の地域の国民に重要なサービスが提供されることが期待されます。

トルコと日本の間には地理的な距離があるにもかかわらず、両国そして両国民の間には強い友情の絆があります。トルコ国民は日本国民に対して深い敬愛の念を抱いています。

1890年、オスマン帝国皇帝スルタン・アブドゥルハミド2世から日本の明治天皇に贈り物と友好のメッセージを奉呈するために訪日したエルトゥールル号は、帰路串本沖で沈没し、乗組員532名が命を落としました。この悲劇的な事故を受けて、船員たちを救おうとした大島の村民の努力と、事故の負傷者と殉職者の家族に対する日本国民と政府の支援がトルコと日本の友好関係の基礎を形成したことをトルコ国民は決して忘れていません。

カライサル市の市民を代表し、また、私自身としても我々のプロジェクトを応援して下さった勝亦大使に対し感謝申し上げますとともに、両国間の友好関係が永続することを願っております。



カライサル市長
Saadettin ASLAN
(サーデッティン・アスラン)